



開催報告：地域活性化フィールドワーク in 中通り ～わたしたちの“やってみたい”をかなえる地域づくり～

- ・福島県では、地域と関わる様々な方との連携により、住民が主役の個性と魅力あふれる地域づくりを目指し、地域・人材つながり新事業に取り組んでいます。この取組の一環として、身近な地域活動の見学や住民同士の交流等による地域づくりの機運醸成を目的に「地域活性化フィールドワーク」を、浜通り・中通り・会津の3方部で行っています。
- ・中通りでの開催となる今回は、福島市大波地区で、古民家カフェ imocaの空きスペースを活用して住民同士の交流の場づくりに取り組む「大波会」を訪問しました。
- ・現場見学では、取組に至った背景や思い、地域の方々との関わりについてお話いただき、その後のワークショップで参加者の方々の学びの深掘りと共有を行い、最後に参加者から大波会と imoca への「勝手アドバイス」を行い、双方に実りある内容となりました。

開催概要

日 時：令和7年9月11日（木）9:30～15:30
会 場：①古民家カフェ imoca
（福島市大波上屋敷30）
②大波多目的集会所
（福島市大波字滝ノ入43-1）
講 師：宇都宮大学地域デザイン科学部教授 石井 大一郎 氏
大波会 永井 康統 氏
内 容：①古民家カフェ imoca 及び交流スペースの見学
②グループでの意見交換、学びの共有、勝手アドバイス
参加人数：26名（自治会・協議会、大学、地域おこし協力隊、復興支援員、自治体職員等）
主 催：福島県企画調整部地域振興課

参加者の感想（抜粋）

- ・多くの県職員のみなさんが『現場』の声に耳を傾けてくれていたのに感動しました。現場での学びを県政に活かしていただけることを期待しています。
- ・ワークショップ参加は初めてでしたが、お互いに悩みがあり、近いものを感じながら楽しく参加できました。新しいつながりや取り組みのアイデアが生まれれば、より一層地域の活性化につながると思います。
- ・永井さんがおっしゃっていた時間軸の話が非常に印象的でした。
- ・管内だけでなく会津や双葉郡の方から参加された方もいらっしゃり、その方々とのお話もできて勉強になりました。ワークショップについても、段階を踏んで、考える・対話する・発表するの形だったので取り組みやすかったです。

＜フィールドワークの様子＞



＜グループワークの様子＞

